

地図から地域を読む



作成者：山岸 智弘、小田 孝子

* 本教材案に出している資料は公開許諾は行橋市から受けている。

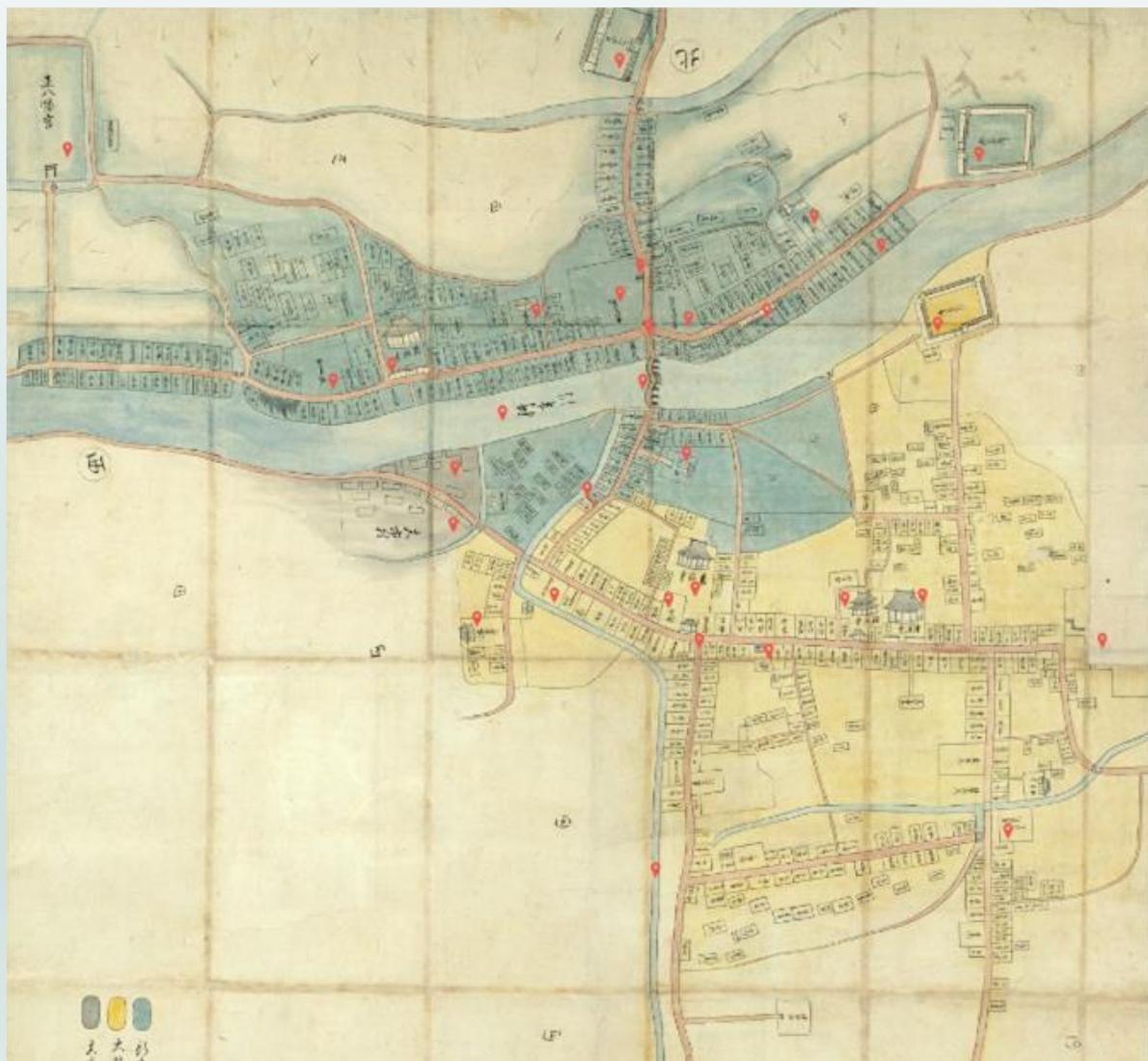
ここはどこだろうか？



https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_genpon/



「大橋村 行事村 宮市村見取図」



＝大橋・行事の中心部を描いた見取図。



何故、この3つの地区を混ぜてあるのか？



1889年：大橋村、行事村、宮市村の合併。行橋町に。

1954年：行橋町と延永村、椿市村、稗田村、今川村、泉村、仲津村、今元村、蓑島村が合併。行橋市に。



なぜ、この地図がつくられたのか？

- 地図が必要とされるのはどういうとき？
(いつ使う？)
- どんな状況なの？
 - ☞ 仮説：記録に残したいから？
外から来た人が必要だったから？
 - ☞ 何が描かれているか見よう！



何が描かれているのだろうか？

ルール

- 地図をよく見て、描かれたものをピックアップしよう
- ☞ 地図のなかの赤のチェックポイントにカーソルを合わせてみよう！

https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/



描かれているものをピックアップ

- 寺社
 - 御蔵所
 - 屋敷
 - 街道
- など

👉 描かれているものから答えを導くには...



これらに答えるために

1. 地図をより詳しく見てみよう
 - 👉 赤いスポットの解説を読んでみよう
2. 授業で習った内容に接続してみよう
3. 図書館の資料を探してみよう
4. インターネット情報源も調べてみよう



1. 地図をより詳しく見てみよう



キーワード
ゲット!

中津往来(なかつ おうらい)

豊前国の2つの城下町、小倉と中津をつなぎ、豊後国(大分県)や日向国(宮崎県)に続く、東九州の幹線道路。中津街道や小倉往来とも呼ばれる。大橋村を通過する際に東側に几字状に屈曲するのが本来のルートであるが、「横町」でシヨードカットする通行者が多く、本来の往来筋が寂れてしまったため、道を付け替えたという記録がある。

ここは田川や博多に向かう陸路と交差する十字路で、北西に小倉藩を代表する豪商・船屋の広大な屋敷が広がっていた。



中津往来と田川方面への道の交差点。写真奥が小倉方面、左が豪商船屋の屋敷地。(明治中期)

クリックすると該当地点にズームします。
クリックすると、現在の写真と解説を表示します。

公的施設

- 大橋御茶屋
- 御蔵所 (京都郡)
- 御蔵所 (津浦郡)

- 正八幡宮
- 貴船神社
- 稲荷社
- 恵美須神社
- 西福寺
- 田福寺
- 神岡寺
- 浄蓮寺
- 安楽寺

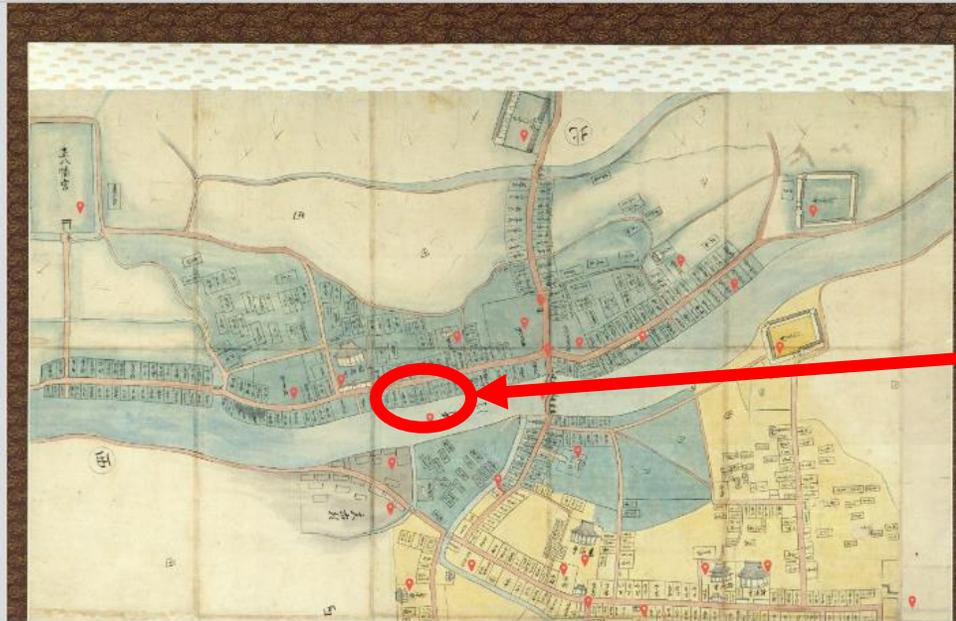
[閉じる]

道・橋・川

- 長崎川
- 万年橋
- 中津往来
- 中津往来 横町口
- 舟路川
- 寺川



1. 地図をより詳しく見てみよう



キーワード
ゲット!

長峡川(ながおがわ)

平尾台を源流とする二級河川。江戸時代の地図や文書では行事川、大橋川と記されている。長峡川の名は、『日本書紀』景行紀にみえる長峡県(ながおのあがた)がこの川の流域に推定されることによる。在郷町大橋・行事近辺では京都郡(行事村)と仲津郡(大橋村、宮市村)の郡境・村境をなしていたが、一部行事村が南岸に張り出しており、出店地区と呼ばれる。

長峡川は、江戸時代には水運の大動脈であった。万年橋の下流側は「種々の口」(ひびのくち)とよばれた船着場で、商家の蔵が建ち並んでいた。そのさらに下流の両岸には藩の「御蔵所」が設けられ、年貢米などが集積された。さらに、舟路川という運河によって今川流域の水運とも接続したため、今川上流である田川郡添田の年貢米も長峡川河口の御蔵所に納められた。



万年橋から下流方向を撮影。(大正末期)

公的施設

大橋御茶屋
御蔵所(京都郡)
御蔵所(仲津郡)
行事村
大橋村

正八幡神社
正八幡宮
貴船神社
稲荷社
恵美須神社
西福寺
旧縁寺
淨蓮寺
安楽寺

[閉じる]

商業・経済

船屋の酒屋店舗
新屋
油屋
旧百三十銀行行橋支店

道・橋・川

長峡川
万年橋
中津往來
中津往來 橋町口
舟路川
今川

します。
します。



2. 授業で習った内容に接続してみよう

例：1868年に作られている。（目録より）

<https://adeac.jp/yukuhashi-city/catalog/mp200010-200010>

＝明治維新の頃

それ以前＝江戸時代に作成開始のはず。

👉 江戸時代に何があったか？
どういうことと関係しそうか？



2. 授業で習った内容に接続してみよう

👉 江戸時代に何があったか？
どういふことと関係しそうか？

👉 仮説：五街道・参勤交代などに関連？
江戸後期の動乱との関連？

これが本当に繋がるか証拠を見つける。

ルール

社会科学系の教科書（地理・歴史）などの記述を
参考に、副読本（郷土学習）の記述を使っても良い。



さらに、詳しく調べるには...

- 👉 次に、教科書などで出てきたキーワードや関連事項について基礎的な内容を抑える。
資料集や辞典を使う。
- 👉 この地方のことも同時に見る。



3. 図書館の資料を探してみよう

- OPACで検索する

検索キーワード 「ゆくはし れきし」

例：『行橋いいところ、見~つけた！！』 K212.1

中津街道、行事飴屋、...

『新京築風土記』 K212.1

長峡川、舟路川、...

☞ いずれも、郷土資料コーナーにある。



3. 図書館の資料を探してみよう

- 「郷土資料」コーナー K212へいってみよう

例：『ふるさと子ども読本』 K212.1

中津街道についての記述

慶長6年（1601）年、徳川幕府が全国の道路網を整え、関所を設けたのが街道のはじまり...（中略）「行事村、大橋村、宮市村大絵図」は、今から約140年前の江戸時代末期に手書きされたもので...（後略）」（pp.53-54）

この二つの村が長峡川河口の港町であるとともに、小倉と中津を結ぶ中津街道と、香春を経て筑前へ向かう多賀真道の起点が交わる交通の要所だったからです（p.80）

👉 ヒットしない本も同じ分類のコーナーへ行くといい！



3. 図書館の資料を探してみよう

- 参考図書コーナーで「地名辞典（事典）」を見よう

例：『角川日本地名大辞典40 福岡県』 291

『日本歴史地名大系41 福岡県の地名』 291

「行橋市」の変遷や

「宮市」「大橋」「行事」の歴史が載っている！



調べるのにつまったら...

4. インターネット情報源も調べてみよう

難しかったらレファレンスカウンターで質問しよう！



4. インターネット情報源も調べてみよう

- ① ゆくはしキッズサイト
- ② Japan Knowledge(ジャパナレッジ)
- ③ JAPAN SEARCH(ジャパンサーチ)
- ④ みを (miwo)

※信頼できるインターネット情報源を使うことが大切！



4. インターネット情報源も調べてみよう

① ゆくはしキッズサイト

<https://www.city.yukuhashi.fukuoka.jp/site/kids/>

「行橋ってどんなまち？」

「歴史・文化にふれよう」など



4. インターネット情報源も調べてみよう

②Japan Knowledge(ジャパンナレッジ)

<https://japanknowledge.com/>

ジャパンナレッジとは、日本有数の百科事典や辞書類が持つ膨大な知識情報を収録したインターネットデータベース



4. インターネット情報源も調べてみよう

③ JAPAN SEARCH(ジャパンサーチ)

<https://jpsearch.go.jp/>

ジャパンサーチは我が国の幅広い分野のデジタルアーカイブと連携し、多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォームです。検索機能のほかにも、ユーザーの活動をサポートするためにさまざまな機能がある。

例：行事村



4. インターネット情報源も調べてみよう

④みを (miwo) : AIくずし字認識アプリ

くずし字（地図のなかにあるぐにゃぐにゃした文字）カメラで写真撮影し、認識ボタンを押すだけで、AIがくずし字を現代文字に変換してくれる。



さあ、**まちあるき**をして、 自分だけの「なぜ」を見つけよう

- 地図の中心部を歩いてみて、気になるものを見つけよう。
- 自分だけの疑問、「なぜ、〇〇があるのか」を膨らませてみよう。
- 「かっこいい」問いにしてみよう。

👉 まず、その一つ目を調べてみよう



その「なぜ」を調べてみよう

- 調べシートに書き込もう。

- 4つの調べ方を思い出して、調べてみよう。

- 👉 調べることで、当時の行橋を知ることができる
地図を読むことで、
地図から地域を読むことができる！

